

# 自己評価結果表【タイプB】（乳児院）

## 同 仁 会 乳 児 院

実施期間 平成29年1月～2月

### 共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

| (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 |                           | 自己評価結果 | a   | b   | c | na | 【判断した理由・特記事項等】                 |
|-------------------------|---------------------------|--------|-----|-----|---|----|--------------------------------|
| ①                       | 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | b      | 44% | 56% |   |    | ・法人例規集に記載されているが周知という部分については不十分 |

#### 2 経営状況の把握

| (1) 経営環境の変化等適切に対応している。 |                                   | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】         |
|------------------------|-----------------------------------|--------|-----|-----|-----|----|------------------------|
| ①                      | 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | b      | 24% | 56% | 20% |    | ・事業報告や決算書等で把握・分析はされている |
| ②                      | 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。         | b      | 24% | 56% | 20% |    | ・常任委員会や管理職会議で進めている     |

#### 3 事業計画の策定

| (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 |   | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】              |
|-----------------------------|---|--------|-----|-----|-----|----|-----------------------------|
| ①                           | 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。               | b      | 40% | 56% | 4%  |    | ・中長期計画は策定されている              |
| ②                           | 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。                | b      | 36% | 56% | 8%  |    | ・中長期計画に基づいた年度のごとの計画は策定されている |
| (2) 事業計画が適切に策定されている。        |   | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】              |
| ①                           | 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | b      | 28% | 52% | 16% | 4% | ・職員の意見は反映されている              |
| ②                           | 7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。                 | c      | 16% | 40% | 40% | 4% | ・家庭通信や面会時にお知らせをしているが十分ではない  |

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

| (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 |   | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                 |
|--------------------------------|---|--------|-----|-----|-----|----|--------------------------------|
| ①                              | 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。            | b      | 40% | 48% | 12% |    | ・会議やケースカンファレンス等で話し合いをもち取り組んでいる |
| ②                              | 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | b      | 44% | 48% | 8%  |    | ・計画的な改善は十分ではない                 |

### Ⅱ 施設の運営管理

#### 1 施設長の責任とリーダーシップ

| (1) 施設長の責任が明確にされている。     |                                     | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】    |
|--------------------------|-------------------------------------|--------|-----|-----|-----|----|-------------------|
| ①                        | 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | b      | 48% | 44% | 4%  | 4% | ・職員に対しての表明は十分ではない |
| ②                        | 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。     | a      | 52% | 48% |     |    |                   |
| (2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。 |                                     | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】    |
| ①                        | 12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。 | b      | 36% | 52% | 12% |    | ・指導力は十分ではない       |
| ②                        | 13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。   | b      | 28% | 64% | 8%  |    |                   |

#### 2 福祉人材の確保・育成

| (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 |   | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】   |
|-----------------------------------|---|--------|-----|-----|-----|----|------------------|
| ①                                 | 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | b      | 16% | 56% | 24% | 4% | ・人事考課や研修で実施されている |
| ②                                 | 15 総合的な人事管理が行われている。                         | b      | 16% | 56% | 24% | 4% |                  |

|   |        |     |     |     |    |                                |
|---|--------|-----|-----|-----|----|--------------------------------|
| (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。                              | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                 |
| ① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。             | c      | 32% | 24% | 40% | 4% | ・ストレスチェックや計画年休はあるが十分ではない       |
| (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。                          | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                 |
| ① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。                        | b      | 24% | 64% | 12% |    | ・外部研修や法人研修、施設内学習会、施設内新採職員教育係り等 |
| ② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。        | b      | 44% | 56% |     |    | ・年間研修計画表を策定し実施                 |
| ③ 19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。                      | b      | 48% | 48% | 4%  |    | ・研修内容等もあり受講回数に差が出ることもある        |
| (4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。              | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                 |
| ① 20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | a      | 56% | 44% |     |    | ・年間を通して受け入れ体制は整っており積極的に取り組んでいる |

### 3 運営の透明性の確保

|                                       |        |     |     |     |    |                 |
|---------------------------------------|--------|-----|-----|-----|----|-----------------|
| (1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。          | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】  |
| ① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。       | b      | 48% | 40% | 12% |    | ・事業概要やホームページで公開 |
| ② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | b      | 32% | 52% | 16% |    |                 |

### 4 地域との交流、地域貢献

|   |        |     |     |     |    |                          |
|---|--------|-----|-----|-----|----|--------------------------|
| (1) 地域との関係が適切に確保されている。                      | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】           |
| ① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。             | b      | 32% | 44% | 24% |    | ・同仁会子どもセンター「にこにこまつり」の実施  |
| ② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。     | a      | 64% | 36% |     |    | ・法人例規集に則り体制を確立している       |
| (2) 関係機関との連携が確保されている。                       | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】           |
| ① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | b      | 48% | 48% | 4%  |    |                          |
| (3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。                    | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】           |
| ① 26 施設が有する機能を地域に還元している。                    | b      | 40% | 56% | 4%  |    | ・里親会への研修提供や栄養士の子育て支援への派遣 |
| ② 27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。         | b      | 36% | 52% | 12% |    | ・地域要保護児童対策協議会への参画        |

## III 適切な養育・支援の実施

### 1 子ども本位の養育・支援

|   |        |     |     |     |    |                                  |
|---|--------|-----|-----|-----|----|----------------------------------|
| (1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。                         | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                   |
| ① 28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。   | b      | 48% | 52% |     |    | ・全乳協の倫理綱領・より適切なかわりをするためのチェックポイント |
| ② 29 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援の実施が行われている。    | b      | 48% | 52% |     |    |                                  |
| (2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。          | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                   |
| ① 30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。         | b      | 48% | 48% | 4%  |    | ・入所受け入れ時や面会・家庭通信で提供              |
| ② 31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。          | a      | 56% | 40% | 4%  |    |                                  |
| ③ 32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。 | a      | 68% | 32% |     |    | ・移行の際は事前訪問や、地域自治体への連絡を丁寧に行う      |
| (3) 子どもの満足の向上に努めている。                            | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                   |
| ① 33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。           | a      | 56% | 32% | 12% |    | ・不十分ではあるものの、担当者との外出等実施           |

|   |        |     |     |     |    |                        |
|---|--------|-----|-----|-----|----|------------------------|
| (4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。                   | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】         |
| ① 34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。                 | b      | 44% | 44% | 8%  | 4% | ・苦情申し出窓口を設置し、周知・機能している |
| ② 35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。        | a      | 56% | 40% | 4%  |    | ・入所受け入れ時や家庭通信で周知している   |
| ③ 36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。           | a      | 56% | 36% | 8%  |    |                        |
| (5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。            | 自己評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】         |
| ① 37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。   | b      | 32% | 60% | 8%  |    |                        |
| ② 38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | a      | 60% | 24% | 16% |    | ・感染症対策マニュアルの活用         |
| ③ 39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。           | a      | 60% | 36% | 4%  |    | ・火災、地震津波等のマニュアルの活用     |

## 2 養育・支援の質の確保

|  |        |     |     |    |    |                    |
|--|--------|-----|-----|----|----|--------------------|
| (1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。                     | 自己評価結果 | a   | b   | c  | na | 【判断した理由・特記事項等】     |
| ① 40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。     | a      | 60% | 40% |    |    | ・養育手順マニュアルの整備と活用   |
| ② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。             | a      | 52% | 36% | 8% | 4% | ・定期的な見直しを実施        |
| (2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。                | 自己評価結果 | a   | b   | c  | na | 【判断した理由・特記事項等】     |
| ① 42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。          | a      | 60% | 36% | 4% |    |                    |
| ② 43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。                  | a      | 68% | 28% | 4% |    |                    |
| (3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。                     | 自己評価結果 | a   | b   | c  | na | 【判断した理由・特記事項等】     |
| ① 44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 | a      | 52% | 44% |    | 4% | ・乳児死亡事故では共有されてなかった |
| ② 45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。                    | a      | 68% | 28% |    | 4% |                    |

□

### 内容評価基準 (22項目) A-1 子ども本位の養育・支援

|  |        |     |     |    |    |                               |
|--|--------|-----|-----|----|----|-------------------------------|
| (1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮  | 自己評価結果 | a   | b   | c  | na | 【判断した理由・特記事項等】                |
| ① A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。 | b      | 32% | 68% |    |    | ・乳児死亡事故では職員の共通理解が図られていたとは言えない |
| (2) 被措置児童等虐待対応   | 自己評価結果 | a   | b   | c  | na | 【判断した理由・特記事項等】                |
| ① A2 いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。               | a      | 96% |     | 4% |    |                               |
| ② A3 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。                          | b      | 48% | 48% | 4% |    |                               |
| ③ A4 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。                   | a      | 56% | 40% | 4% |    |                               |

### A-2 養育・支援の質の確保

|                                       |        |     |     |    |    |                              |
|---------------------------------------|--------|-----|-----|----|----|------------------------------|
| (1) 養育・支援の基本                          | 自己評価結果 | a   | b   | c  | na | 【判断した理由・特記事項等】               |
| ① A5 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。 | a      | 68% | 32% |    |    | ・担当養育制をベースとした愛着関係の育み         |
| ② A6 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。       | b      | 48% | 48% | 4% |    | ・日常のお手伝いや、季節の行事や社会的な行事、外出の機会 |
| ③ A7 子どもの発達を支援する環境を整えている。             | b      | 44% | 52% | 4% |    |                              |

| (2) 食生活             |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
|---------------------|--|------------|-----|-----|-----|----|-----------------------------------|
| ①                   | A8 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。                           | a          | 72% | 28% |     |    | ・自律栄養で、子どもが欲しい時に欲しい分だけ満足できるように行う  |
| ②                   | A9 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。                       | a          | 80% | 20% |     |    |                                   |
| ③                   | A10 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。                     | a          | 76% | 24% |     |    | ・アンケート調査を行い参考に行っている               |
| ④                   | A11 栄養管理に十分な注意を払っている。                            | a          | 76% | 24% |     |    | ・摂取できる栄養を考え、献立を作成している             |
| (3) 衣生活             |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
| ①                   | A12 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。         | a          | 60% | 36% | 4%  |    |                                   |
| (4) 睡眠              |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
| ①                   | A13 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。                   | a          | 84% | 16% |     |    |                                   |
| (5) 入浴・沐浴           |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
| ①                   | A14 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。                         | a          | 76% | 24% |     |    | ・湯音、室温、準備物等整えてから行う                |
| (6) 排泄              |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
| ①                   | A15 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。                     | a          | 52% | 44% | 4%  |    | ・トイレトレーニングは十分とはいえない               |
| (7) 遊び              |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
| ①                   | A16 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。                 | b          | 36% | 64% |     |    | ・個別的な遊び、集団での楽しさなど織り交ぜて工夫          |
| (8) 健康              |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
| ①                   | A17 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。         | a          | 64% | 36% |     |    |                                   |
| ②                   | A18 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。          | a          | 64% | 32% | 4%  |    | ・安全を重視しながらハビリや訓練等実施               |
| (9) 心理的ケア           |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
| ①                   | A19 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。                     | b          | 36% | 48% | 12% | 4% | ・今年度は心理担当職員が不在のため他部署の職員から指導援助を受けた |
| (10) 施設と家族との信頼関係づくり |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
| ①                   | A20 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。    | a          | 64% | 36% |     |    | ・家庭支援専門相談員を中心として行っている             |
| (11) 親子関係の再構築支援     |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
| ①                   | A21 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。             | a          | 68% | 32% |     |    |                                   |
| (12) スーパービジョン体制     |  | 自己<br>評価結果 | a   | b   | c   | na | 【判断した理由・特記事項等】                    |
| ①                   | A22 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性の向上や施設の組織力の向上に取り組んでいる。 | b          | 48% | 36% | 16% |    | ・体制は確立されているが、機能としては十分ではない         |